

第 39 回原子力委員会
資料第 1 号

資料 3-1

分野別推進戦略

平成 13 年 9 月 21 日

総合科学技術会議

取りまとめに当たって

1. 科学技術基本計画における分野別推進戦略の位置付け

平成13年3月30日に閣議決定された科学技術基本計画では、第1章「6. 科学技術振興のための基本的考え方」において、研究開発投資の効果を効果的に向上させるための重点的な資源配分を行うとされ、具体的には、「国家的・社会的課題に対応する研究開発については、明確な目標を設定し、資源を重点化して取り組む。」「急速に発展し得る科学技術の領域には、先見性と機動性をもつて的確に対応する。」「新たな知に挑戦し、未来を切り拓くような質の高い基礎研究を一層重視する。」とされている。

さらに、第3章「2. 重点分野における研究開発の推進」において、「総合科学技術会議は、基本計画が定める重点化戦略に基づき、各重点分野において重点領域並びに当該領域における研究開発の目標及び推進方策の基本的事項を定めた推進戦略を作成し、内閣総理大臣及び関係大臣に意見を述べる。」こととされている。

2. 分野別推進戦略の作成

以上を踏まえて、総合科学技術会議では、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティアの8分野について、分野別推進戦略を作成することとした。

総合科学技術会議は、本年4月に、重点分野推進戦略専門調査会を設置し、各分野毎にプロジェクトを設け、産学官の有識者により、集中的な調査・検討を進めてきた。今般、重点分野推進戦略専門調査会は、各プロジェクトにおける調査・検討を踏まえ、この案をとりまとめた。

分野別推進戦略の内容は、今後5年間にわたる当該分野の現状、重点領域、当該領域における研究開発の目標及び推進方策を明確化したものである。

3. 今後の進め方

総合科学技術会議は、今後この分野別推進戦略等を踏まえて、次年度において特に重点的に推進すべき事項等を明らかにし、次年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針を作成する。さらに、この方針を反映した予算編成が行われるよう、必要に応じて予算編成過程で財政当局との連携を図る。

科学技術の進歩が激しく、社会も急速に変動する現在において、各分野の最新の動向を把握するとともに、急速に生じてきた科学技術に対するニーズへ対応する等のため、今後、毎年、柔軟かつ機動的に分野別推進戦略の見直しを行うこととする。

総合科学技術会議は、この分野別推進戦略とともに、科学技術システム改革専門調査会と評価専門調査会の審議等を踏まえ、各省及び各機関における研究開発上の目標と手法、役割と分担、成果の社会への還元等の計画と実行の状況について把握・評価し総合的に調整することによって、各機関間の連携を図るとともに、不必要な重複を排除し、効果的・効率的な研究開発の推進を図る。

<目次>

ライフサイエンス分野	4
情報通信分野	16
環境分野	27
ナノテクノロジー・材料分野	39
エネルギー分野	50
製造技術分野	59
社会基盤分野	69
フロンティア分野	81

今回の会議にて配布した資料は多量な資料の為、入手を希望される方は下記 3 機関において閲覧・複写（有料）に応じております。

未来科学技術情報館 (休館日：第 2、第 4 火曜(祝祭日の場合はその翌日))	〒163-0401 東京都新宿区西新宿 2－1－1 新宿三井ビルディング 1 階	TEL：03-3340-1821
原子力公開資料センター (休館日：土、日曜日、祝日、年末年始、10月1日)	〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 3－8－1 虎の門三井ビル 2 階	TEL：03-3509-6131 FAX：03-3509-6132
サイエンスサテライト (休館日：月曜(祝祭日の場合はその翌日))	〒530-0025 大阪市北区扇町 2－1－7 扇町キッズパーク 3 階	TEL：06-6316-8110